

JCI HIKONE

一心一意！ 夢、希望溢れるひこねへ！



5月度(臨時総会)例会
～組織の表現力を高めよう！～開催

総務広報委員会 委員長 夏原大輝、インタビュー

一心不乱！ 2021地区大会 in ひこね！
彦根大会 `フェスタ、その全貌とは～

近畿地区協議会 総務広報戦略委員会 VC 西川隼世、インタビュー

彦根市長選挙～公開WEB討論会～

ひこねの魅力体験記！

ひこねの御菓子 ～いと重菓舗～



写真：総務広報委員会
委員長 夏原大輝

一心同体！ 夢、希望溢れる同志たち！

今回は2021年5月6日に行われる、5月度例会～組織の表現力を高めよう！～を開催するにあたり、総務広報委員会の`夏原大輝、委員長にインタビューを行いました。夏原委員長が本例会に込める想いとは…!? 夏原委員長らしさ溢れる本例会の全貌をご覧ください♪



地域への想い、彦根JCの活動…
受発信に奔走する夏原委員長

質問：本例会では具体的に何をされるのでしょうか？

夏原：オンライン上、ひいてはSNS上の受発信をヒントに、魅力ある情報とは何か、表現力とは何かを学んでいただきます。

質問：以前から彦根JCではSNSを活用されていましたよね？

夏原：`使用、はしていましたが、`活用、までには至っておりません。各媒体に応じた活用、魅力的表現というには程遠いのが現状ですね。

質問：そのSNS活用と`表現力、の結びつきとは？

夏原：表現力とは「組織や自分の考えや想いを、周囲へわかりやすく、魅力的に伝える能力」だと私は考えています。そしてSNSは効果的に情報や想いを広く伝えられる現代ツールです。この二つの結びつきが高次元で結びつかないことには、人はその情報に興味を持ってくれません。また表現力はSNS上でなくとも、我々の日々のなかにある活動においても非常に重要なポイントだと考えています。

質問：そこが本例会の大事なポイントですね。

夏原：そうです。彦根青年会議所活動における`表現力、は、なにも広報の面だけで必要とされるスキルではありません。人に興味をもってもらい、知ってもらい、心に響かせるための`表現力、は私たちの活動における大切なスキルです。

質問：夏原委員長の本例会に込める想いを教えてください。

夏原：彦根青年会議所が、地域の青年世代を代表する組織でありつづけるためには、その背負う看板に伴った集団である必要があると考えています。表現力の会得もその一つです。地域への熱い想いがあるこそこの私たち。その想いをより明確に、より鮮明に伝えられる組織へと進化する契機となる例会にしてみせます！



カメラを持ってひこねを駆け巡る！
夏原大輝 委員長

一心不乱！ 2021地区大会 in ひこね！

近畿地区大会彦根大会の開催(7月3日)まで残り3ヵ月！今回は近畿地区協議会 総務広報戦略委員会にVC(副委員長)として出向中の`西川隼世、君にフェスタの全貌についてインタビューをしました！



LOMでの経験を活かし
VCとして奮闘する西川君

質問：まず近畿地区協議会へ出向している西川副委員長(LOM内理事)の近畿地区大会への関わりを教えてください。

西川：総務広報戦略委員会の副委員長(VC)として近畿地区大会彦根大会の`フェスタ、を担当させていただいております。

質問：本大会では式典・フェスタと2部構成に分かれておりますが、フェスタでは地域、市民を巻き込んだ形での設えとお聞きしています。

西川：事業ブースや飲食店ブースの地域企業の参入はもとより、設営には地域の大学生にも参画していただきます。

質問：JC関係者と大学生が共に大会を設営する狙いは何ですか？

西川：一つのテーマとして`地域の大学生と創る大会、というイメージを持って進めております。大人やJC関係者だけではなく、地域の次

代を担うであろう大学生の参加は大きな意味を持ちますからね。設営側の観点から学生に参加してもらうことは、地域の魅力を学生に知っていただく契機にもなると考えています。またこれだけ大きな大会に設営側として参加できることは、彼らにとっても貴重な経験になることは間違いありません。

質問：地元企業ブースがあることは、学生と企業双方にメリットがありそうですね。

西川：結果として地元企業への就職など、地域からの若者離れ防止に貢献できればとも考えています。それも地域活性化の一助になるはずですから。

質問：最後に本大会への意気込みをお聞かせください。

西川：本大会のフェスタを成功裏に収めるためには近畿地区協議会と彦根青年会議所が密に連携を取るの当然として、彦根青年会議所のメンバーが一丸となり準備を進めなければいけません。当事者意識を持ち、自身の役割を理解したうえで行動に移せば、きっと本大会、そしてフェスタが皆の記憶に残る素晴らしいものになると信じています。大会まで残り3ヵ月！期待しててください！



残り時間はごく僅か！
地域を巻き込んだ準備に
全力疾走の西川VC！

一心発起！ TAKE ACTION！

連載記事「一心発起！ TAKE ACTION！」では、地域の活性化に繋がるACTION！を起している組織内外の人物や組織に取材を行い、12ヵ月に渡り記事を掲載していきます！！

4回目となる今回は3月30日に行われた「公開討論会」より彦根市長選挙立候補予定者3名の所信表明を一部抜粋してお送りいたします。その全貌は4月7日よりYouTubeで配信開始！本記事最下部のQRコードから、公式WEBサイト内の動画URLよりご覧ください！



立候補予定者の3名

左から「和田裕行」氏、「大久保貴」氏、「獅山向洋」氏

< 討論会 趣旨説明 >

このまちの未来をより明るく、より豊かなものとするためには、市民がこれからの彦根について真剣に考える場を創出し、市民の声が市政に反映されるように促す必要があります。公開討論会を開催することにより、視聴者が彦根市長選挙立候補予定者の主張から地域の現状や課題を再認識し、まちの将来の展望を見据える機会となり、ひいては市民が意志を表明する場のひとつである選挙に対して、より強く意識していただきたいと考え、彦根市長選挙公開WEB討論会を開催させていただきました。

< 出馬にあたっての所信表明(抜粋) >

和田裕行氏：新型コロナウイルスの蔓延により地域経済が疲弊しておりますが、そもそもコロナ禍以前より彦根は大型の公共工事等により、市の財政状況は危機的なものでした。彦根を愛する一市民としてはこのままで見過ごせない、看過することはできないと思い立ち、出馬をするに至った次第です。私は24年間ICTを活用して自身が立ち上げたブランドを世界中に発信しております。そういったビジネスで培った経験、または民間の常識を、是非市政に持ち込み、ICTを活用しての行政改革、そして地域経済の、民間の方々への活性化策を進めていきたいと考えています。私は他2名の立候補予定者と違い、政治経験が全くございません。しかしながらそれは、しがらみ、の無さだと考えております。これを機に彦根を一度リセットして市民の皆さまと一緒に新しい彦根を作りたいと考えております。



大久保貴氏：昨年の今頃から緊急事態宣言が発令され、市の行事等も年内全て中止をするという決断を早々にさせていただき、市民の皆さま方にはご不便をおかけしました。引き続きコロナ禍による、`制約、のある日常は続きます。これを何とか乗り越えていくために、ワクチンの接種が開始されました。アレルギー反応への対処を含め、引き続き万全を期して準備を進めてまいりますので、市民の皆様方におかれましても可能な限り多くの方々に、円滑にワクチンを接種していただけますようお願いをしたいと思います。また、こうした中においても第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の主会場として彦根が基盤整理をおえて更に飛躍をしていく重要な時期に、私自身が全



力を傾けて引き続き市長の任に当たらせていただきたいと決意した次第でございます。改めてご理解ご支援をお願い申し上げたいと考えております。

獅山向洋氏：今回出馬を決意いたしました、三つの点を申し上げさせていただきたいと思っております。第一は新型コロナウイルス対策についてです。私を含め市民の皆さまは、精神的、経済的、家庭的にご苦勞なさいましたと思っております。そういう点を行政として市民の皆さまにお応えできるような担当部署をしっかりと作りたくと考えております。二つ目は、現在の彦根市の非常に悪い財政状態の改善です。失礼ながら現市長による乱脈な財政を行われた結果と私は考えております。私も過去に市長という役職を三期させていただきました、財政改革を多く実施してまいりました。この機に今までの経験を活かし、財政を健全な状態に戻したいと考えております。三つ目は、全国的に多くの市政が実施している給食費の無償化です。なぜ彦根でできないのか。公約となりますが是非とも私は皆さまにお約束して、経済的な意味で保護者の皆さまに楽をしていただきたいと考えていると同時に、経済波及効果も期待できると考えておりますので、この点を実施させていただきたいと考えております。



以上が公開討論会の冒頭部分でした！この後に控える内容は「市民の関心が高い5つのテーマについて意見表明と候補者間での討論」①彦根市が抱える課題点とそれに対する取り組み ②子育て、教育 ③地域活性化・観光施策 ④新型コロナウイルス対策・企業、事業者への支援 ⑤医療介護福祉
そして最後には<彦根市民へのメッセージ>！
討論会の映像公開は4月7日より公式WEBサイトにてご案内します。彦根の未来を占うと言っても過言ではない彦根市長選挙！決めるのは我々市民です。来たる投票日に向けて、皆さまのご視聴をお願いいたします。



発見！ひこねの魅力体験記！

連載記事「発見！ひこねの魅力体験記！」では、2市4町にある魅力スポットを彦根青年会議所メンバーが訪れ、体験した内容を記事とすることで、地域の知られざる魅力を紹介していきます！3回目となる今回は「いと重菓舗」！歴史深く、奥深い地域のお菓子を堪能です！

彦根城の石垣を抜けてお堀にかかる京橋を渡ると、江戸時代の城下町をイメージした通り「夢京橋キャッスルロード」があります。そこを少し小道に入ったところ、彦根の老舗和菓子店「いと重菓舗 本店」があります。地域では言うまでもなく名の知れた名店。本店以外にも夢京橋店、地域市民御用達のピバンティ（ショッピングセンター）にも店を構える、本当に美味しい御菓子のみを揃えておられるお店です。またその歴史は古く、なんと創業文化六年（1809年）！彦根藩・井伊家御用達で、彦根藩から他家への贈答品の菓子も手掛けられました。



本店は趣のある外観



3月にリニューアルされた店内
季節により変化する名菓がズラリ

店内には季節に応じた美味しそうな御菓子が並びます。井伊家御用達！と聞くと一見敷居が高いように感じるかもしれませんが、決してそんなことはありません。気品高いなかにも価格は抑え、本当に美味しいものを提供したいという御店の想いが御菓子から伝わってきます♪
たくさんのお菓子がありますが、やはりいと重といえば「埋れ木」。御抹茶の深い苦みと香りの中に、キメ細かな自家製餡の優しく上品な甘さが口いっぱいに広がります。これを食べずして彦根の御菓子は語れないでしょう。御土産にも大変喜ばれます♪



いと重と言えば「埋れ木」



おススメの「和こん」

個人的にその美味しさに衝撃を受けたのは「和こん」！濃厚なレアチーズケーキに4日間焼き上げた大粒の小豆や柚子を混ぜ合わせた和魂洋才の御菓子。いやスイーツ！年齢を問わず誰もが「美味しい！」と思える一品でしょう。味はもちろん、見た目の美しさまで追及された御菓子。全てにおいて深みのある御菓子と「いと重菓舗」は、間違いなくひこねの魅力スポットです！ひこねに来られた際は是非お立ち寄りください♪



季節を彩る生菓子も豊富

新入会会員紹介！

にしかわ なおき

名前：西川 直樹

勤務先：ニシキ電工
滋賀県知事登録第290065号

- ① 仕事内容：電気工事
- ② 趣味や好きなスポーツ：日本代表のプロスポーツ観戦
- ③ 結婚されていますか？：はい
- ④ 子供はおられますか？：3人います。
- ⑤ 特技：特にありません
- ⑥ 尊敬する人：仕事と遊びを上手くしている先輩
- ⑦ 座右の銘：為せばなる
- ⑧ 彦根青年会議所のイメージ：志しの高い集団
- ⑨ 彦根青年会議所に入会しようと思われたキッカケは？
：自分自身がワンステップ向上出来たと思ったから。
- ⑩ 彦根JCの活動を通じて、自身がどのように活動や成長していきたいか。
：活動を通じ、自分に合った成長、方向性を決めていきたいと思っています。
- ⑪ 最後に、自分はこんな凄い人間なんだと自慢して下さい。
：卒業するまで秘密にしておきます（笑）



事業・例会案内

2021年 4月 6日：4月度例会 ～ALL FOR ONE～

2021年 4月 7日：彦根市長選挙公開WEB討論会 YouTube動画配信開始
（詳しくは公式WEBサイトへ）

2021年 4月 25日：会員交流タイム ～全身全力全集中でジェスチャータイム！～

2021年 5月 6日：5月度(臨時総会)例会 ～組織の表現力を高めよう！～



彦根JC